

自然現象の“不思議”に魅せられ、自然界の謎に挑む

野村淳子（東京工業大学 資源化学研究所 准教授）

仕事の内容とやりがい

大学の研究所に勤務し、研究を行なっています。教育面では大学院の協力講座として大学院生の授業を担当しています。また研究室に配属された大学院の学生と研究とともにすることで、「何が大切なのか」、「どうしたら本当のことを明らかにできるのか」など、科学に対する姿勢や物事の考え方などを教育しています。誰も知らないことを見つけたり、今までにない材料を作ったりする研究はもちろん気合が入りますが、人間形成の一端に携わることのできる教育も重要な仕事だと考えています。

進路決定のきっかけ

小さい頃から色々な自然現象が不思議で、その理由を知りたいと強く思っていました。現在分かっている科学は、神様の作った自然界のルールを人間がどこまで明らかにして来たかの歴史です。名もない科学者の熱意と努力の積み重ねです。こう考える様になってから、自分も名もない科学者の一人になりたいと思いました。

仕事と家庭とのバランス

現在、子供は中学生の男の子が一人います。子供に手がかかる時期は助手として過ごしており、比較的時間配分を自由にさせてもらえたので、一日に数回家庭と職場を往復したり、早めに帰宅したりしていました。大切なのは時間をかけることではなく効率良く成果をだすことだと考え、ベストなスケジュールをたてることには気をつけていました。私の場合、バランスを取るというよりも、仕事を一生懸命することで同時に家事も結構ちゃんどできたかな(?) と思っています。

進路選択に対してのメッセージ

最近では色々な学部や職場があり、チャンスも広がったと同時に選択に迷うことも多いかと思います。大切なのは、自分のことをよく知ってもらっている人達に相談することです。また、時間を元に戻すことはできませんので、選んでしまった道は後悔することなく、ひたすら前に進むことで先は開けてきます。

<野村淳子 (のむらじゅんこ) プロフィール>

- 1982年 清泉女学院高等学校卒業
- 1986年 東京理科大学理学部化学科卒業
- 1988年 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子化学専攻修士課程修了
- 1991年 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子化学専攻博士課程卒業
- 1991年 東京工業大学資源化学研究所助手に就任(結婚、出産)
- 2006年から現職

